


2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2019年11月11日

東証1部 コード6569

 **日総工産株式会社**

- 1. 2020年3月期 第2四半期 決算概要**
 - 1-1 活動の概況**
 - 1-2 今後の見通し**
- 2. 2020年3月期 業績予想**
- 3. 株主還元方針**
- 4. 補足資料**

1. 2020年3月期 第2四半期 決算概要

- 売上高は、自動車アカウント企業グループが好調に推移したことなどにより、前年同期比13.3%増となる
- 費用面では、引き続き販管費の抑制を進めたことにより営業利益は前年同期比15.8%増となる

(単位：百万円)

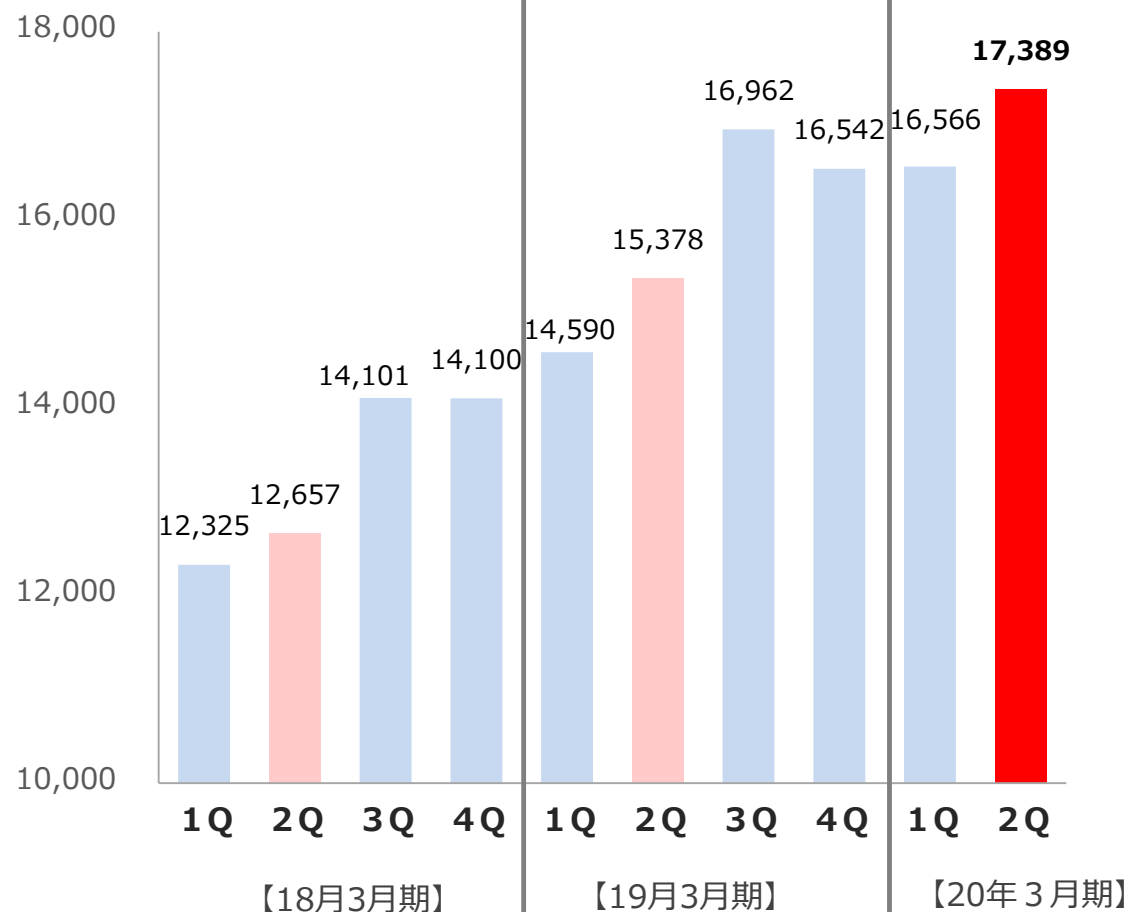
	19年3月期2Q		20年3月期2Q		対前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	29,969	100.0%	33,955	100.0%	3,986	13.3%
売上総利益	5,228	17.4%	5,887	17.3%	659	12.6%
販管費	4,251	14.2%	4,756	14.0%	504	11.9%
営業利益	977	3.3%	1,131	3.3%	154	15.8%
経常利益	983	3.3%	1,136	3.3%	153	15.6%
四半期純利益	629	2.1%	777	2.3%	147	23.5%

2020年3月期 四半期単位の単体業績推移



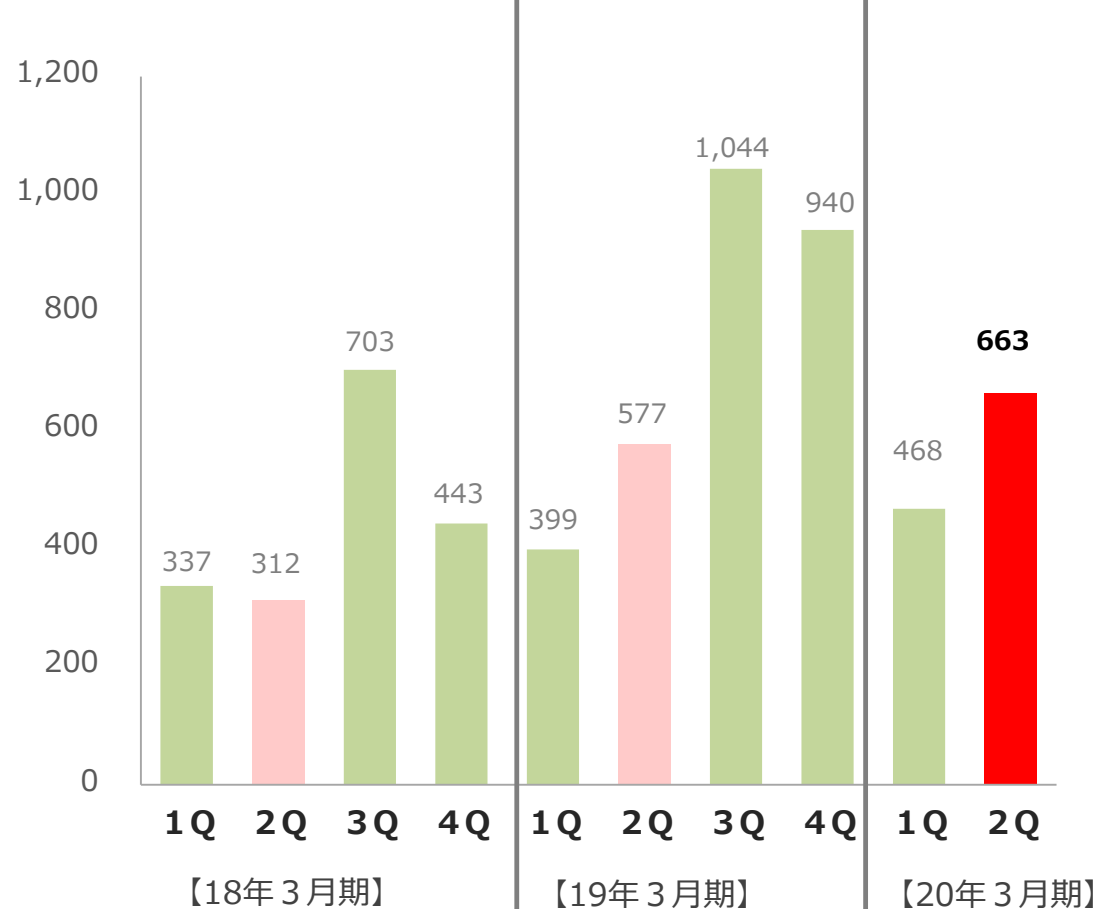
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



- 総合人材サービス事業：技能社員、アカウント企業戦略を引き続き展開
電子デバイスの一部で市場回復の遅れがあったが、自動車関連が順調に推移したことにより、業績は拡大
- その他の事業：すいとぴー東戸塚の入居者の増加により売上高増、更なる入居者増を図る

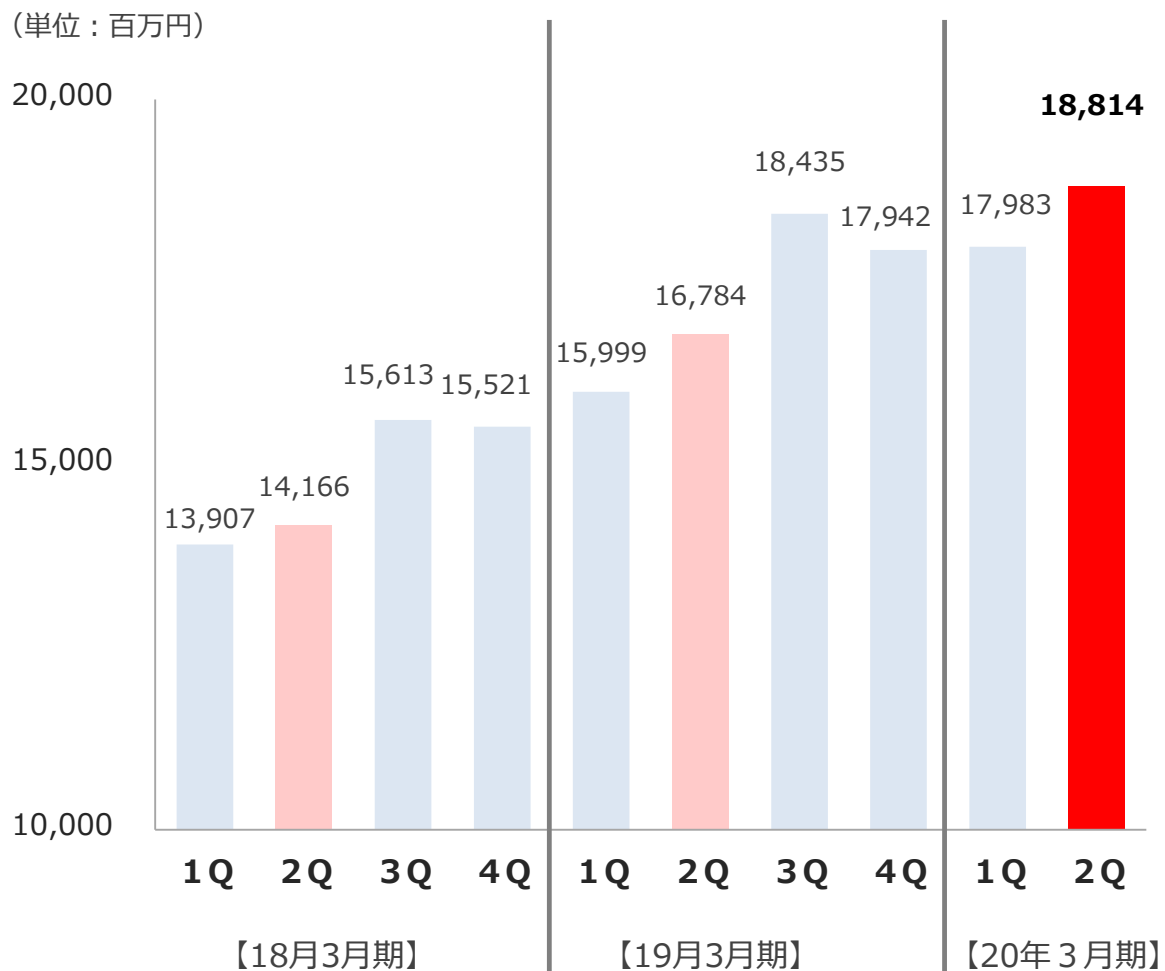
(単位：百万円)

	19年3月期2Q		20年3月期2Q		対前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	32,783	100.0%	36,797	100.0%	4,014	12.2%
売上総利益	5,508	16.8%	6,210	16.9%	701	12.7%
販管費	4,593	14.0%	5,082	13.8%	488	10.6%
営業利益	915	2.8%	1,128	3.1%	212	23.2%
経常利益	930	2.8%	1,154	3.1%	223	24.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	588	1.8%	785	2.1%	197	33.5%

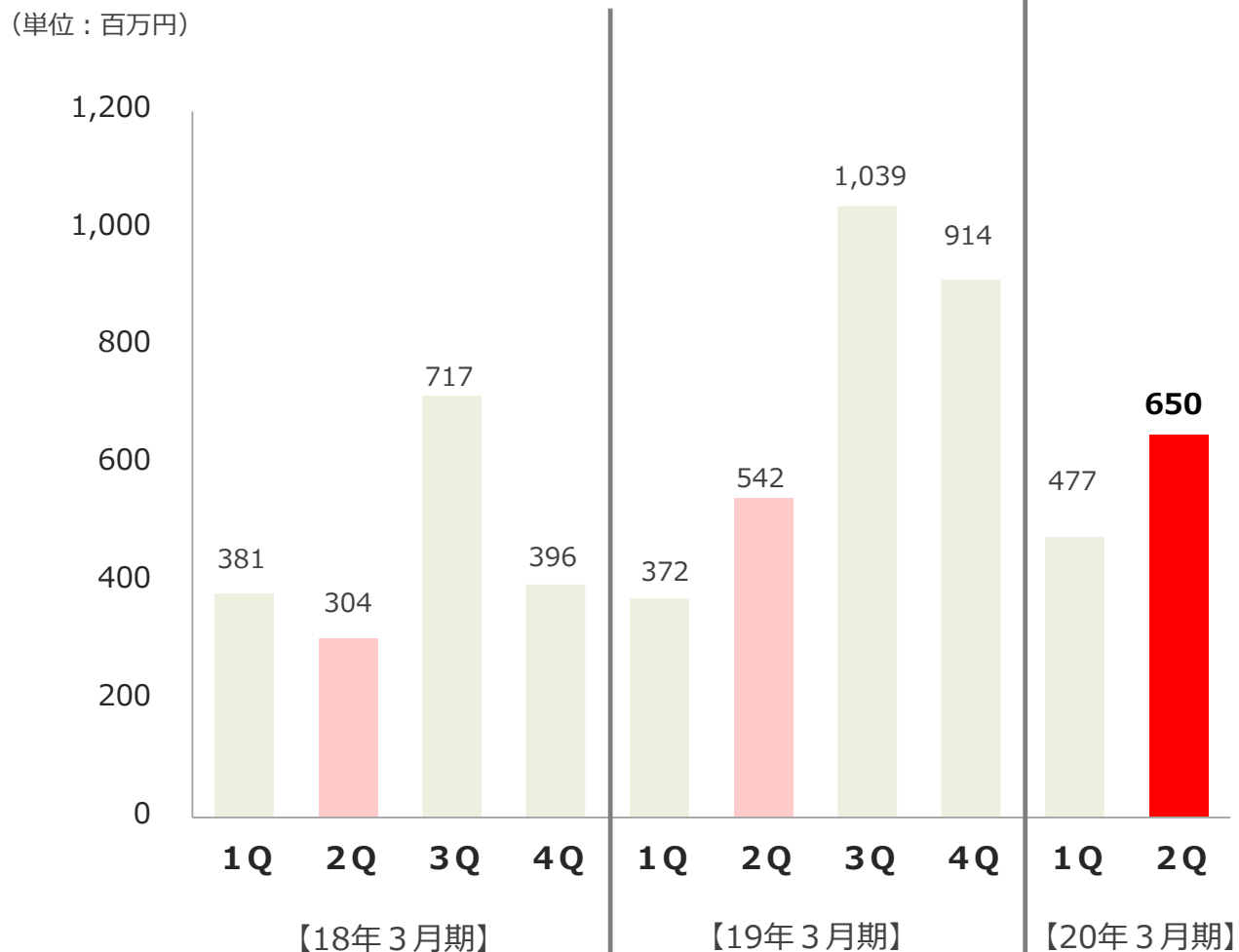
2020年3月期 四半期単位の連結業績推移



売上高



営業利益

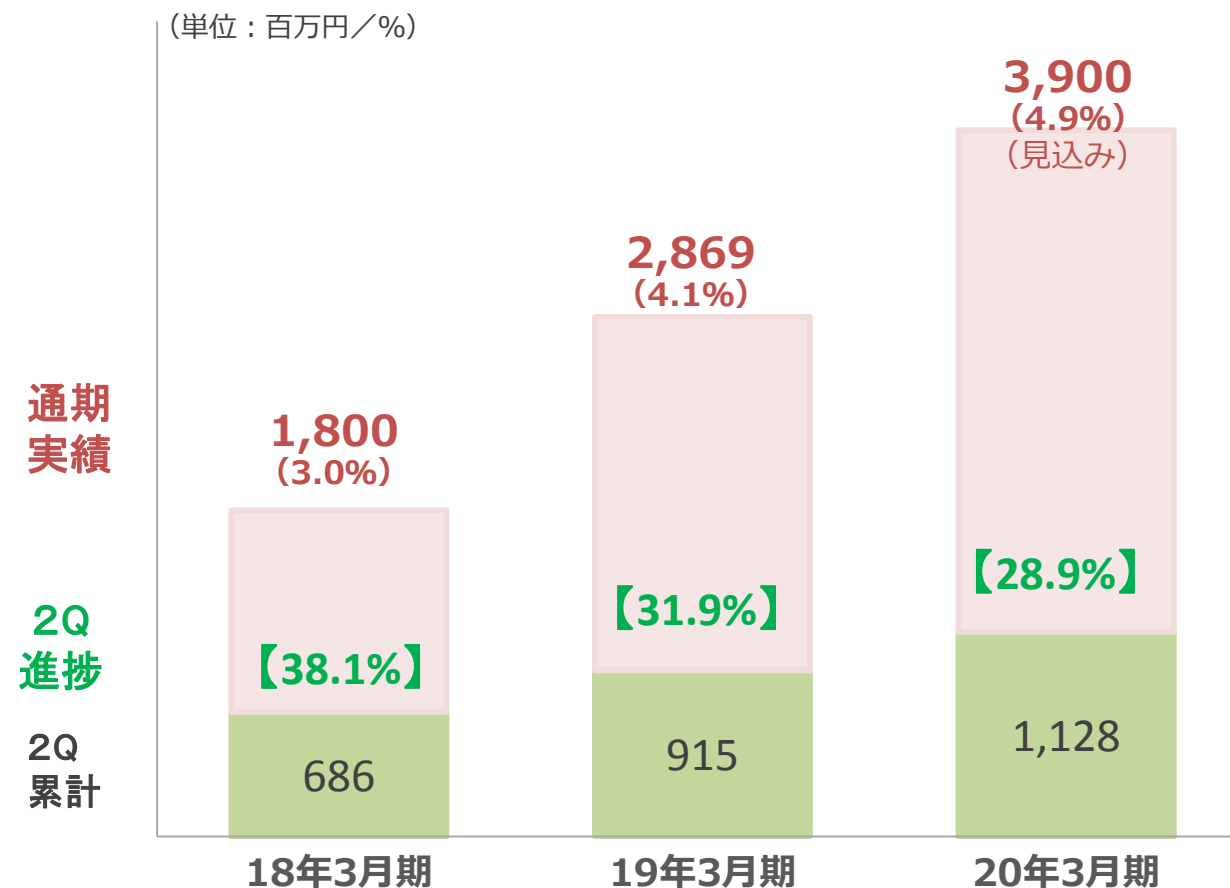
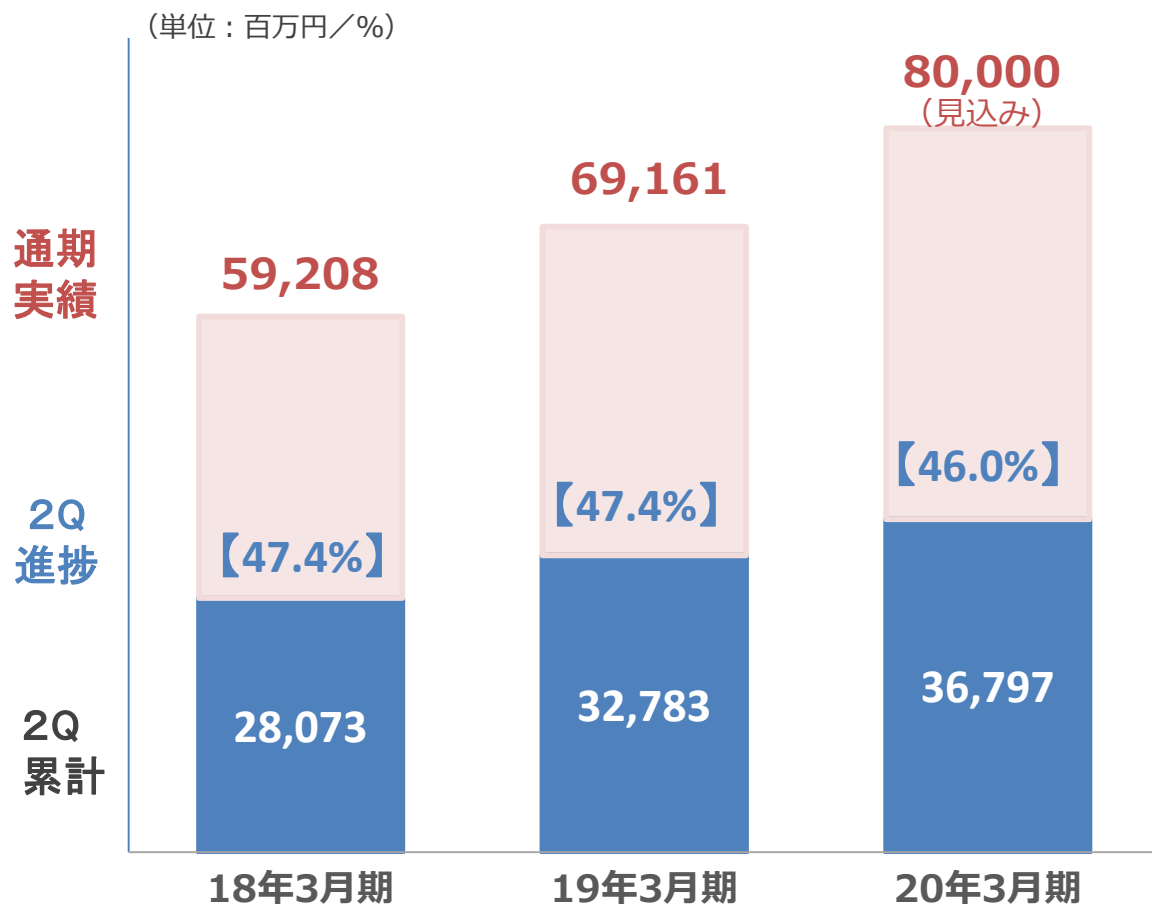


2020年3月期 連結業績見込み進捗状況



【売上高】

【営業利益（率）】



- ・ 年度業績見込みに対する進捗状況はほぼ前年と同様の傾向となる
- ・ 1Qを中心とした上期の重点投資は下期が回収期となる

2020年3月期 業績推移見込み

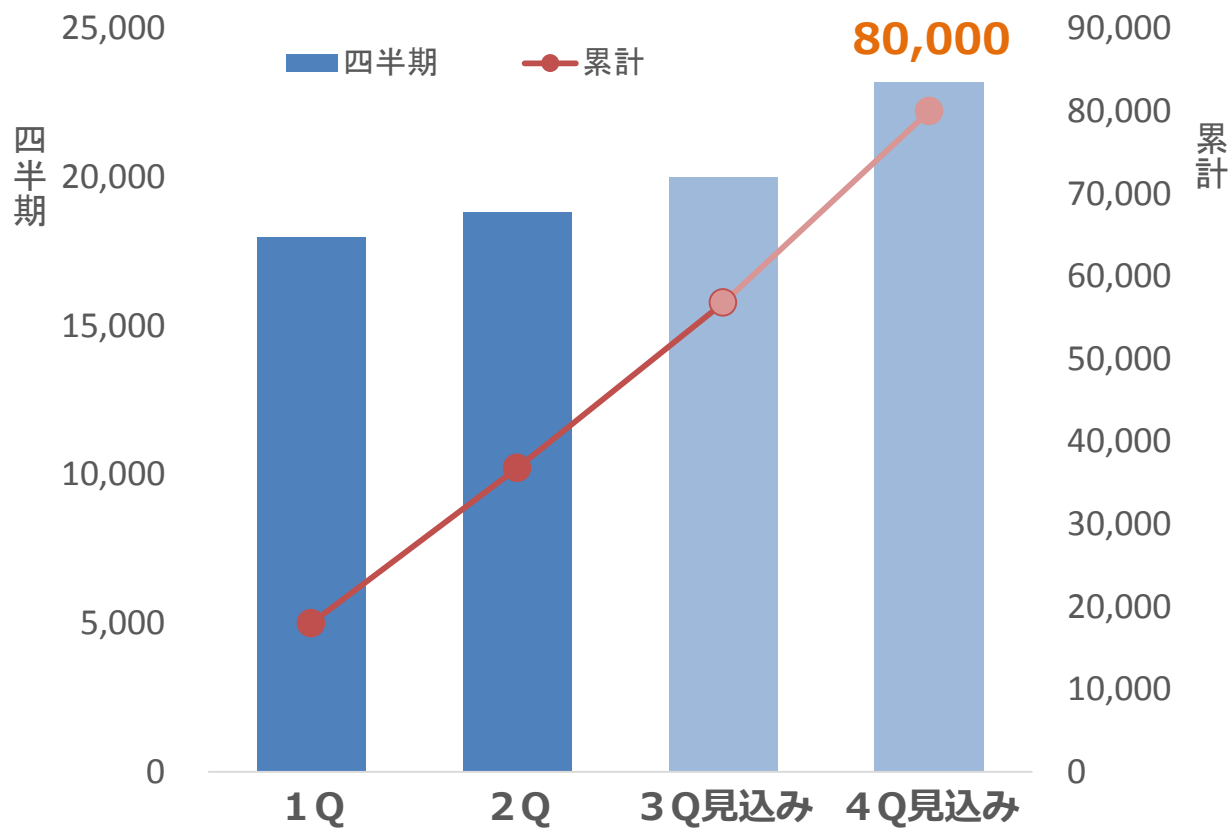


【売上高】

稼働日数

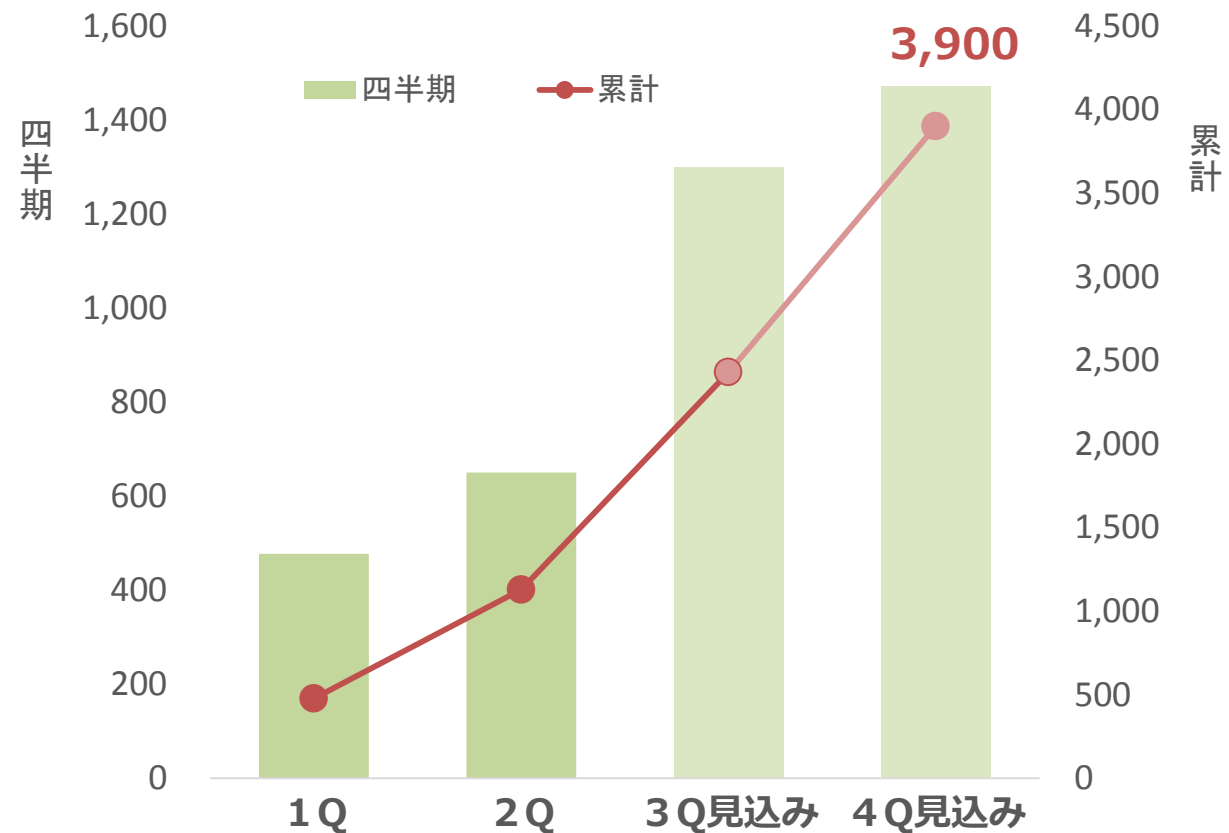
55	55	59	58
----	----	----	----

(単位：百万円)



【営業利益】

(単位：百万円)



- 下期は自動車関連顧客からの受注が内定しており、1Qに実施した投資も活かし業績の拡大を図る
- 通期業績の半期の配分は通常は1：2だが、今期は1：2.5となる見込み

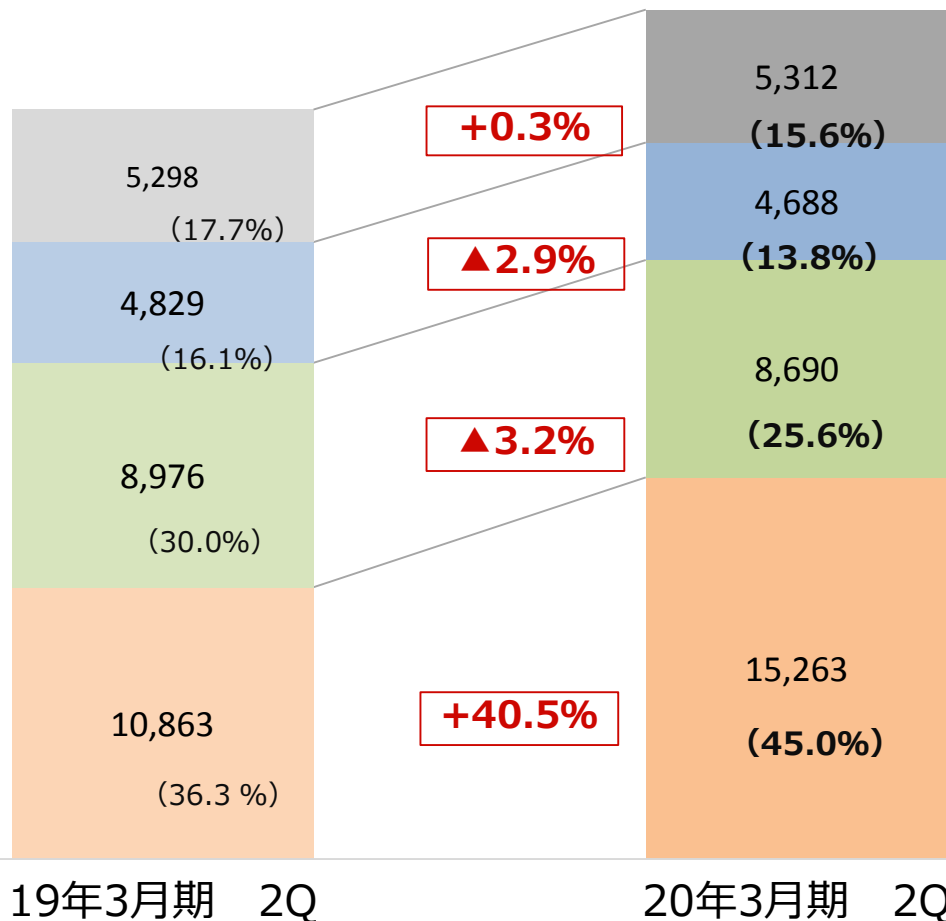
1-1 活動の概況

2020年3月期 第2四半期業種別売上高（単体）

売上高構成比推移

(単位：百万円・%)

■自動車 ■電子デバイス ■精密・電気機械 ■その他



電子デバイス

電子部品関係は2Q後半に回復傾向となるが、市場環境の影響により、本格的な回復期は下期にずれ込む見込みとなり、売上高増加には至らず持ち越し

自動車

構成比の高い自動車業界の売上高は、既存取引先における人材需要の増加および次期アカウントの成長と単価交渉により拡大した

底打ち反転

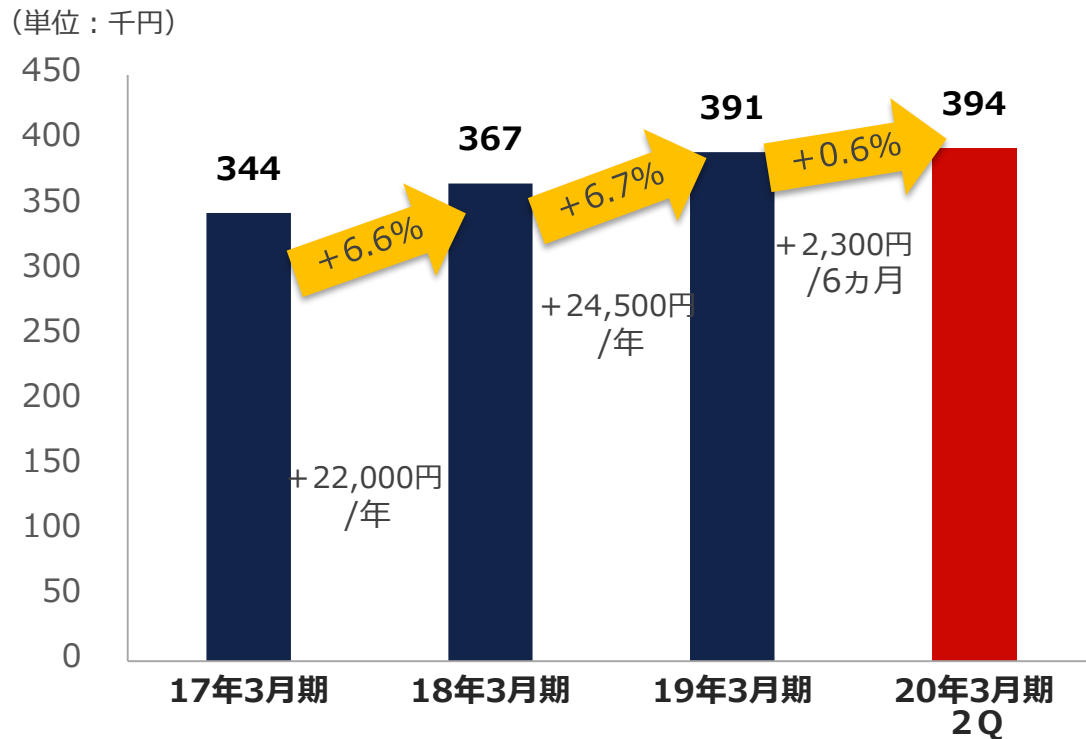
順調に拡大

※ () 内%は全売上高比、□内の%は、対前年同期比伸長率

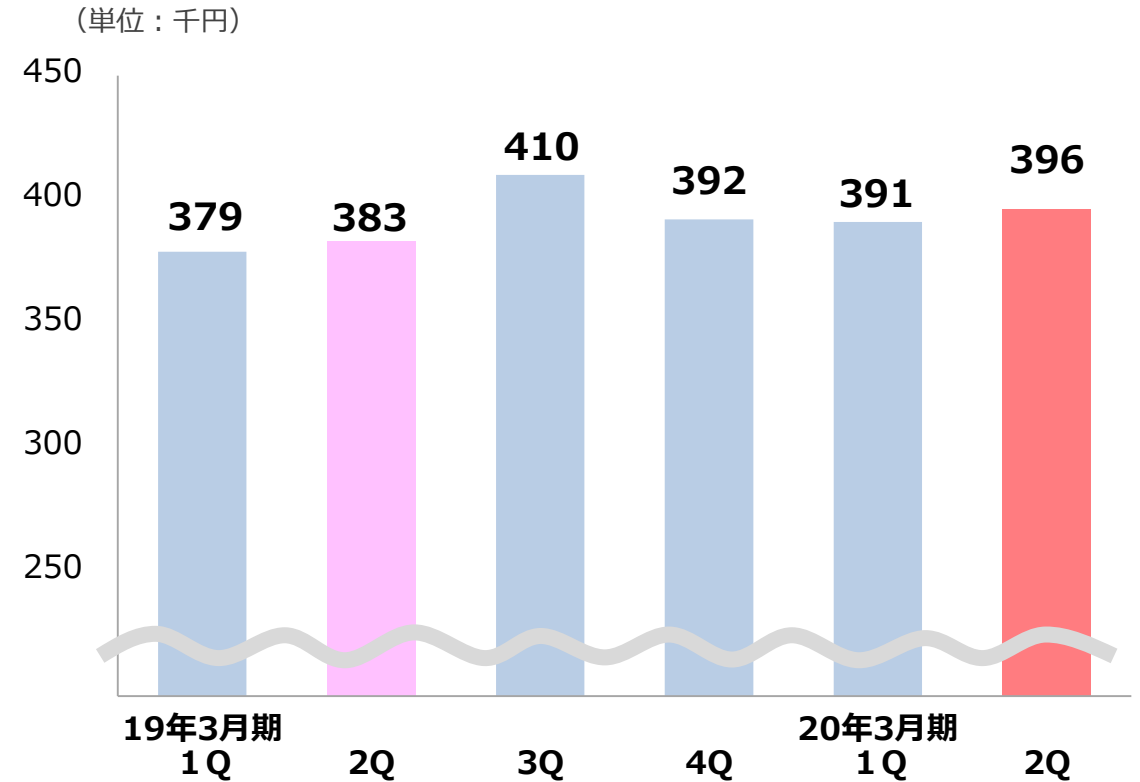
一人当たり売上高推移（単体）

- 2020年3月期第2Q累計 一人当たり売上高394千円
- 高単価の自動車アカウント企業を中心とした配属を推進し、一人当たり売上高は増加となる

一人当たり売上高（月平均換算）



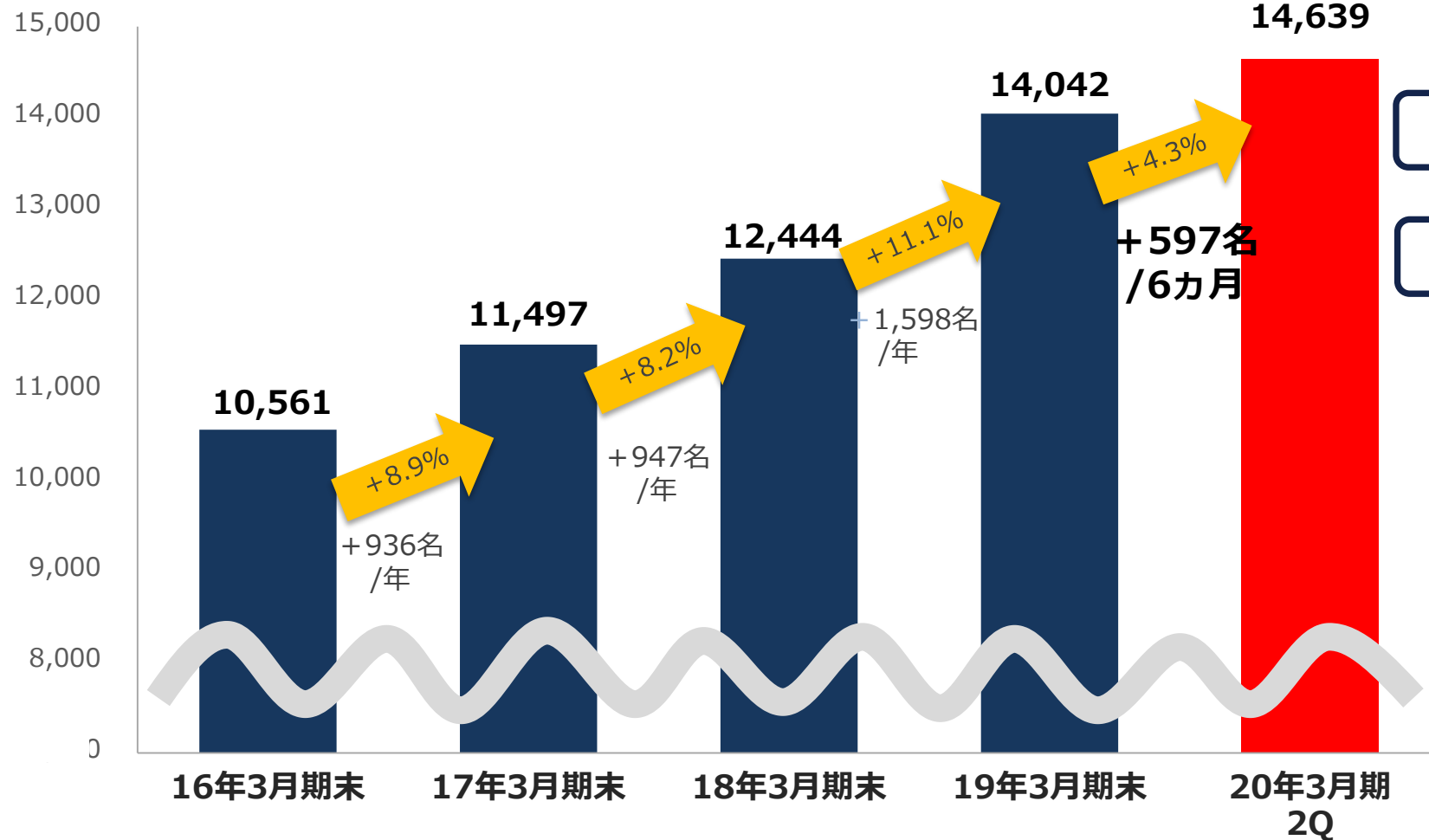
一人当たり売上高（四半期単位）



在籍推移（単体）

期末在籍人数の推移

(単位：名)



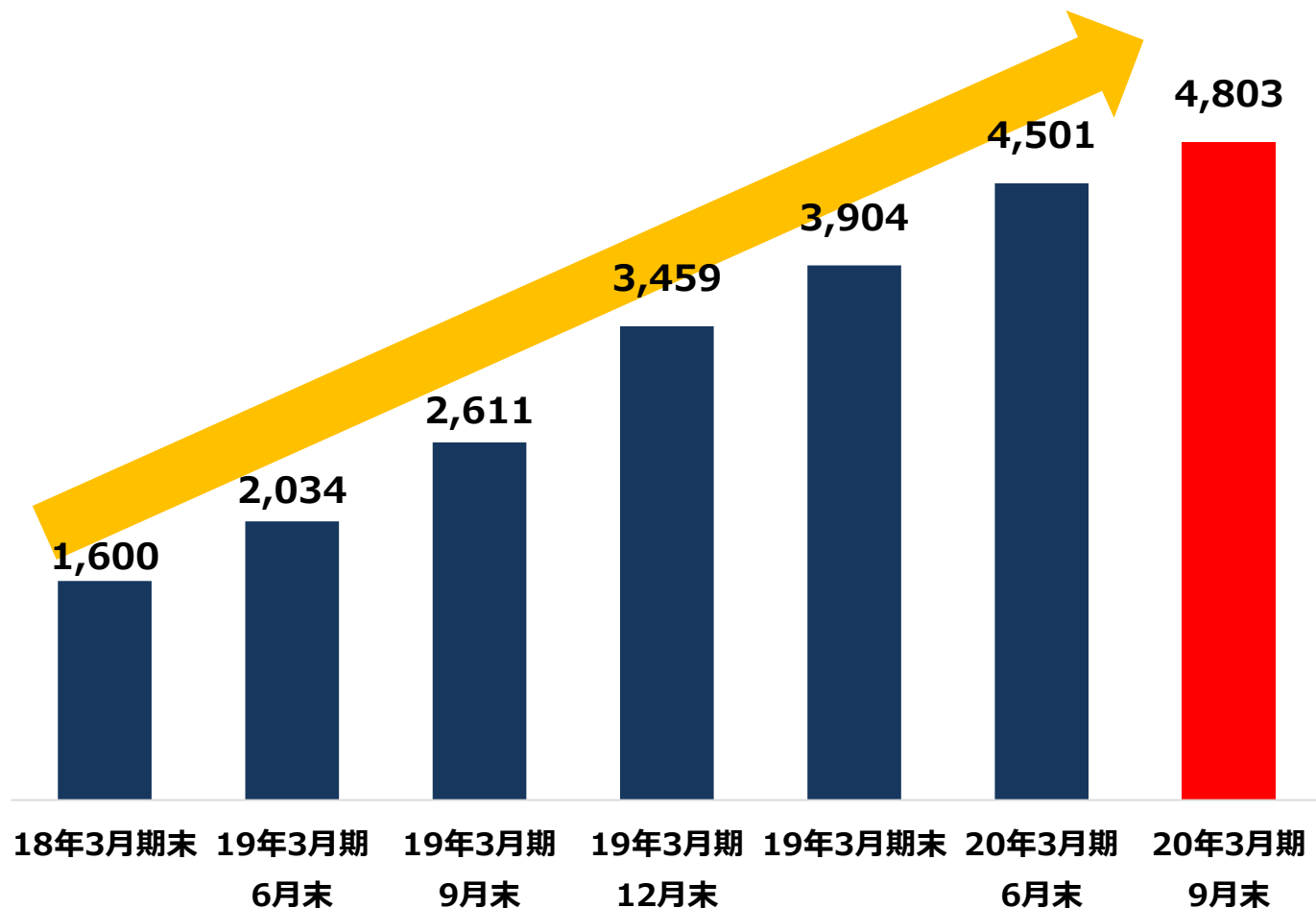
対前期末比 597名 (4.3%)

自動車関連企業を中心に増加

技能社員数（単体）

技能社員数推移

(単位：名)



技能社員は計画通りに増加

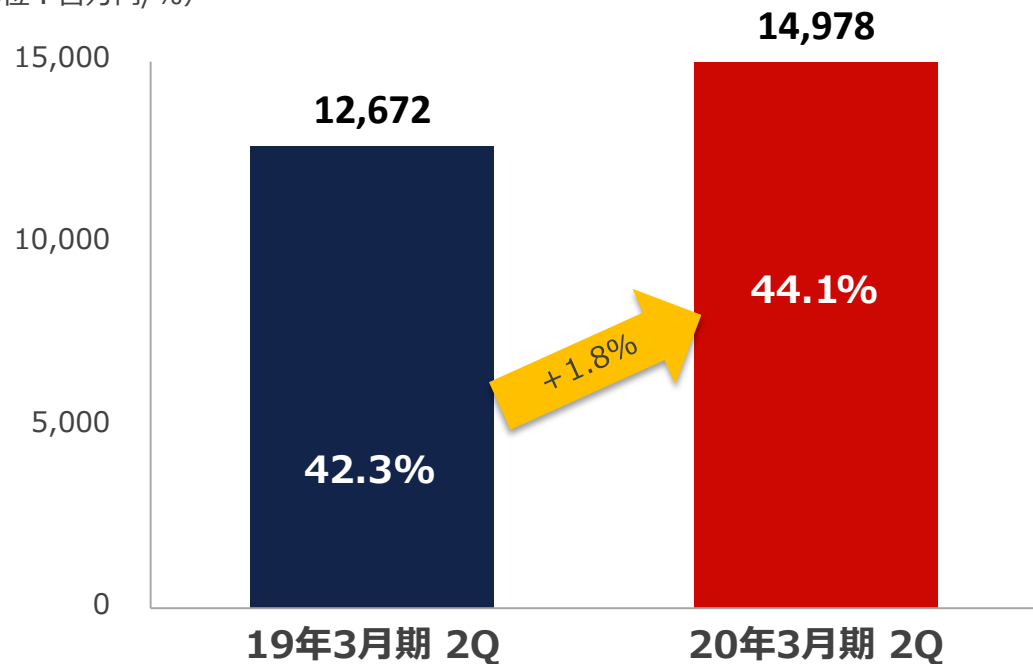
引き続き、技能社員を育成し、
高単価であるアカウント企業からの
需要に応じて配属を進めていく



アカウント企業について（単体）

アカウント企業グループ売上高と構成比

(単位：百万円/%)



第2四半期におけるアカウント企業売上高シェア率は44.1%となる

自動車企業Gが大幅に伸張、技能社員の積極的配属により売上高増加となる
 電機企業Gは、半導体関係の生産が好調に推移、研修修了者を配属し、売上高増加となる
 電子部品企業Gは、本格的な回復期が下期以降にずれ込んだため、売上高増加には至らず

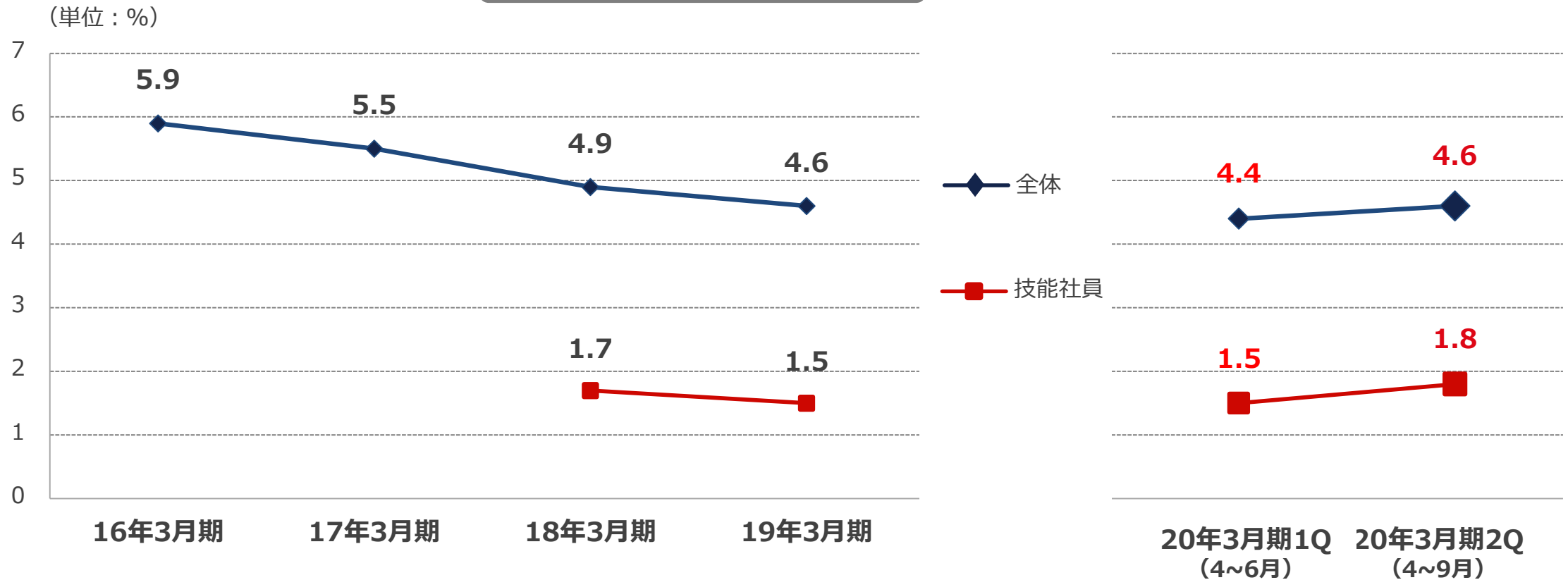
	19年3月期 2Q	20年3月期 2Q	増減
アカウント計(4G)	12,672	14,978	2,305
全売上	29,969	33,955	3,986
構成比	42.3%	44.1%	1.8P

離職率（単体）

■ 2020年3月期2Q 全体の離職率は4.6% (対2019年3月期 ±0.0P)
■ 技能社員の離職率は1.8% (対2019年3月期 +0.3P)

■ 一部の取引先の縮小により離職率は増加となる

離職率推移



教育実績（単体）

第2四半期コース別教育実績（延べ人数）

（単位：名）

研修名	1Q (4~6月)	2Q (7~9月)		20年3月期 半期累計	(参考) 19年3月期 累計
技能社員教育	393	483	技能社員スタンダード教育	876	2,522
認定訓練教育	72	57	認定職業訓練校（宮城県・長野県）	129	318
製造教育	312	717	ものづくり教育 (Iキルト、アトバン入、ハーシク)、 製造スタッフ配属前実習、移動教育等	1,029	3,047
安全教育	162	1,182	危険体感教育	1,344	1,322
保全基礎教育	39	65	設備保全基礎教育	104	167
社員教育	184	115	新卒研修、途中入社者研修、中堅社員 研修、新任主任教育、業務管理者教育	299	292
その他	28		外部受託教育	28	22
合計	1,190	2,619		3,809	7,690

技能社員教育受講者は
計画通り、増加となる

保全基礎教育受講者は大幅に
増加。修了者は、需要が拡大
している半導体製造企業に配属



その他の事業実績

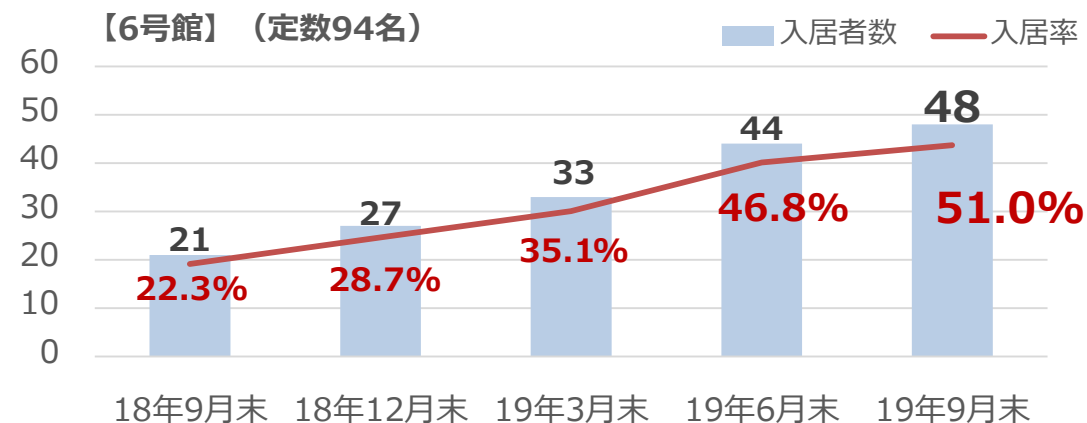
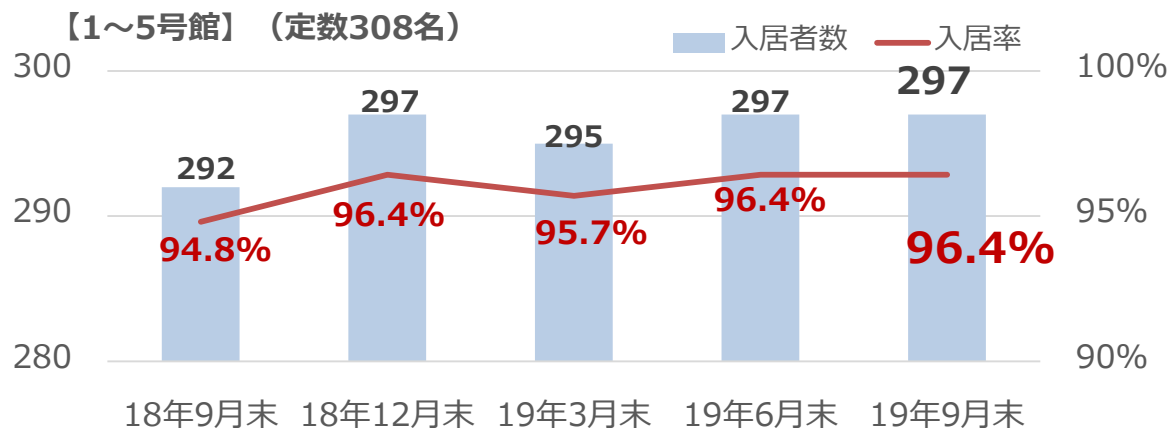
(単位：百万円/%)

	19年3月期 2Q		20年3月期 2Q		対前年同期比		19年3月期 通期
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	
売上高	1,208	100.0%	1,369	100.0%	161	13.4%	2,485
経費	1,351	111.8%	1,367	99.8%	16	1.2%	2,732
営業利益	▲ 143	▲11.8%	2	0.2%	145		▲247



- 売上高は、6号館入居数増に伴い増加
- その他施設（1～5号館）は、高入居率を維持
- 引き続き、すいとぴー東戸塚入居者増加、経費の抑制を進め、通期の黒字化を目指す

施設入居者数推移



連結業績

売上高 36,797百万円
(前年同期比 +12.2%)
営業利益 1,128百万円
(前年同期比 +23.2%)

- 売上高 前年同期比増収 (12.2%) 年度進捗率46.0%
- 営業利益 前年同期比増収増益 (23.2%) 年度進捗率28.9%

業種別売上高 (対前年同期)

自動車 …+ 40.5%
電子デバイス …▲ 3.2%

- 自動車は、アカウント企業Gを中心に新規オーダーにより増加傾向となる
- 電子デバイスは、一旦回復後に市場の影響を受け、一部減少となる

四半期末在籍者数

14,639名 (前期末比+597名)
…前年同期は+1,102名増

- 電子部品関連企業における縮小があったが、自動車関連企業の需要が高水準で推移したことにより、全体の在籍数は増加
- 第2Q期中における純増数は前年同期に比べ減少となった

一人当たり売上高/月

394千円 (前期末比+3千円)
…前年同期は+14千円

- 高単価作業所への技能社員の配属を推進
- 単価交渉は計画通り進展

1-2 今後の見通し

需要環境

- 全体 …直近の有効求人倍率は「生産工程の職業」の低下に代表されるとおり大きく低下している。当社は例年同様期末に向けて増員見込み
- 自動車 …新車種の導入や上級モデルの生産上昇により主に完成車・部品ともに、国内外からの受注が増加の見込み
- 電子デバイス…メーカーにおける受注の回復時期の後ずれにより、上期で下げ止まったうえで、今期末以降に5G関連部品などの需要の増加が見込まれる

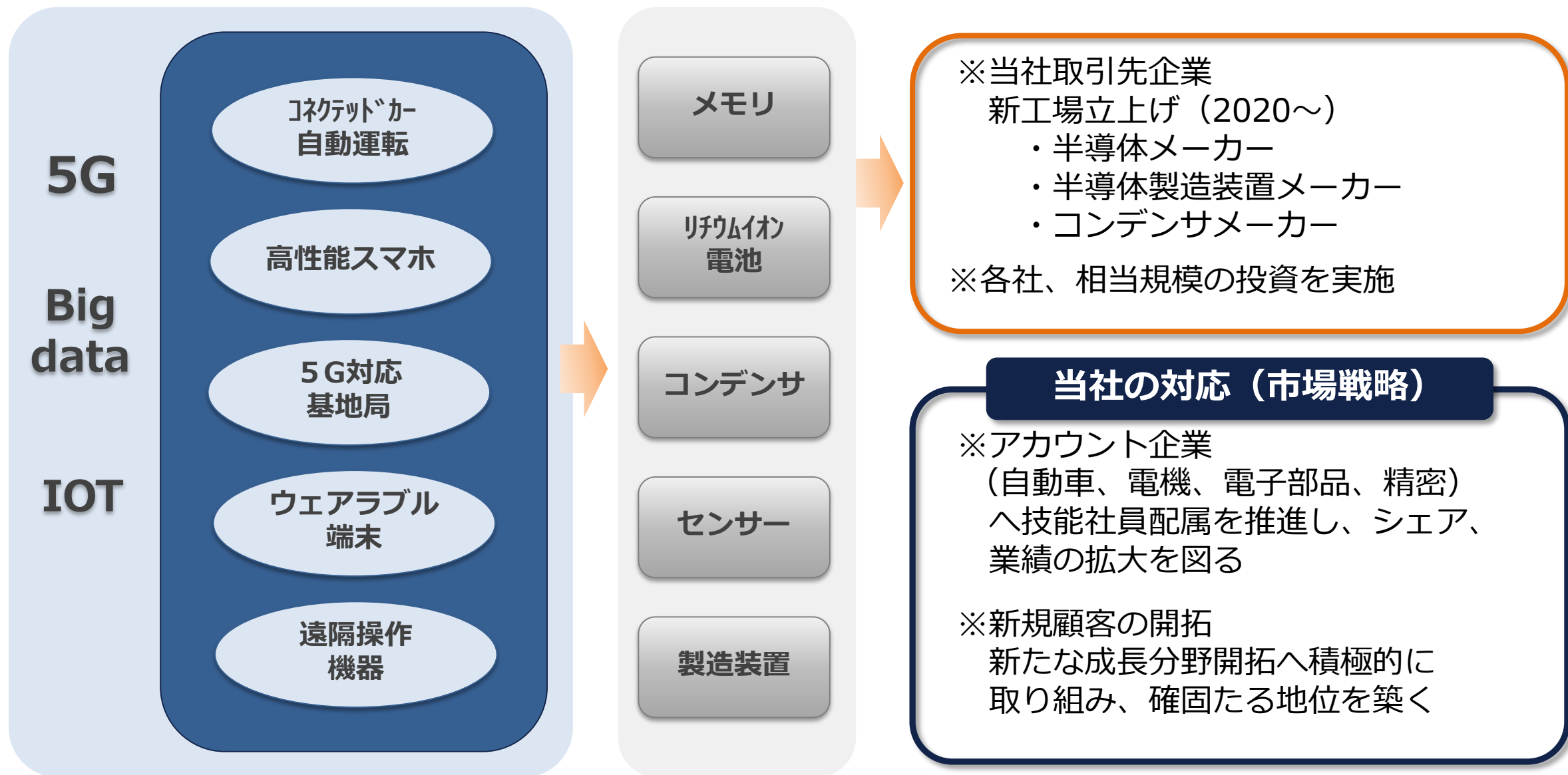
採用環境

新規求人数も製造業の減少が目立つ、このような環境下で当社の採用活動におけるマッチング精度の重要性が高まっている
当社では自動車関連からの受注により受注要員数は増加見込み

顧客環境

働き方改革への対応として、顧客企業からの外部人材の需要は引き続き発生見込み

当社の顧客動向は増員段階、人材需要は増加傾向を見込む



■ 多様な就業機会の創出

『株式会社ニコンとの人材派遣事業における協業に関するお知らせ』（2019年9月13日公表）

当社とニコンは**合併会社**を通じた協業により、人材派遣事業、有料職業紹介事業、業務請負事業、キャリア開発及び人づくり教育に関する事業等を共同で進めてまいります。

【合併会社概要】

(1)	名称	株式会社ニコン日総プライム
(2)	所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜 2-14-2 新横浜214ビル8F
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役兼社長執行役員 吉田雅彦
(4)	事業内容	総合人材サービス事業
(5)	資本金	50百万円
(6)	設立年月日	2003年11月7日
(7)	決算期	3月31日
(8)	純資産	388,942千円（2019年3月末時点）
(9)	総資産	983,348千円（2019年3月末時点）
(10)	出資比率	株式会社ニコン：51%、日総工産株式会社：49%

▶ 合併会社 事業開始日 2020年1月6日（予定）

トピックス

■ 中国人新卒エンジニア

中国人新卒エンジニア18名が入社

9月 来日～入社式後、当社研修施設にて入社教育を実施

10月 当社取引先にて就業中

■ ESG経営への取り組み

～当社グループは多様な人材の活躍、働き甲斐を追求できる職場実現を推進します～

障害者の方が働きやすい環境の構築（日総ぴゅあ）

『アビリンピック（障害のある方々が日頃職場などで培った技能を競う大会）』参加

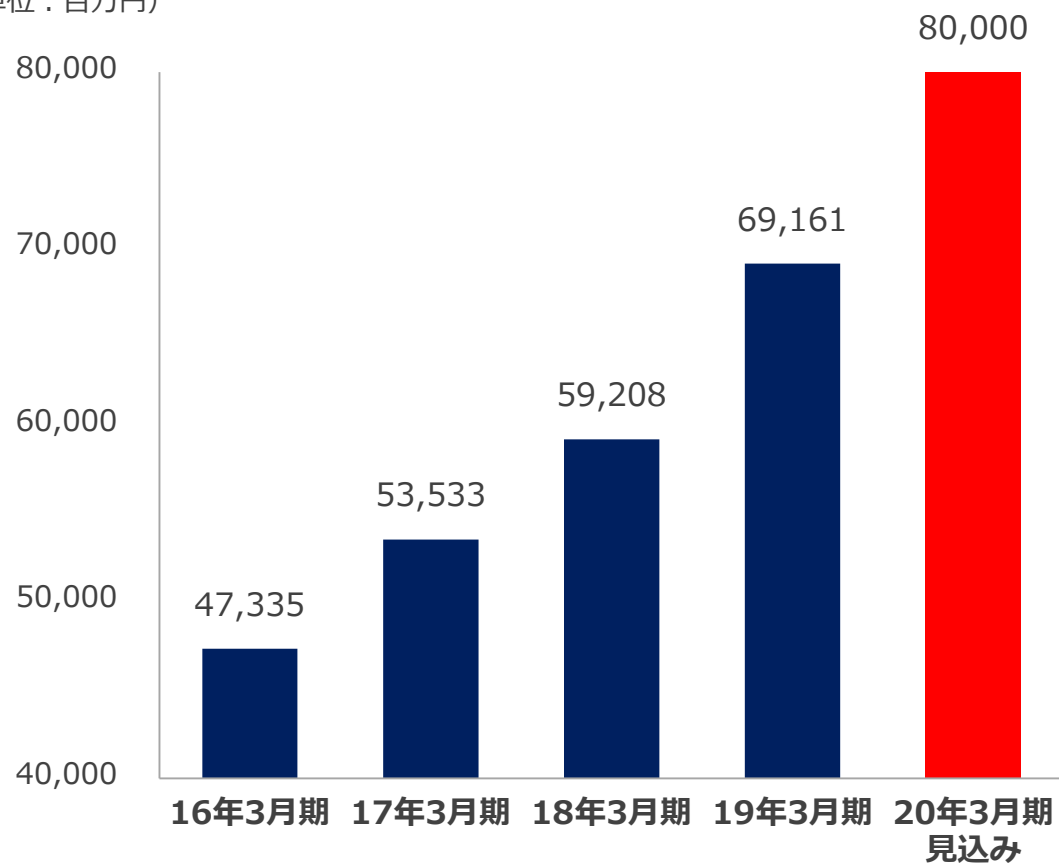
第17回神奈川県障害者技能競技大会～アビリンピック神奈川2019～



2. 2020年3月期 業績予想

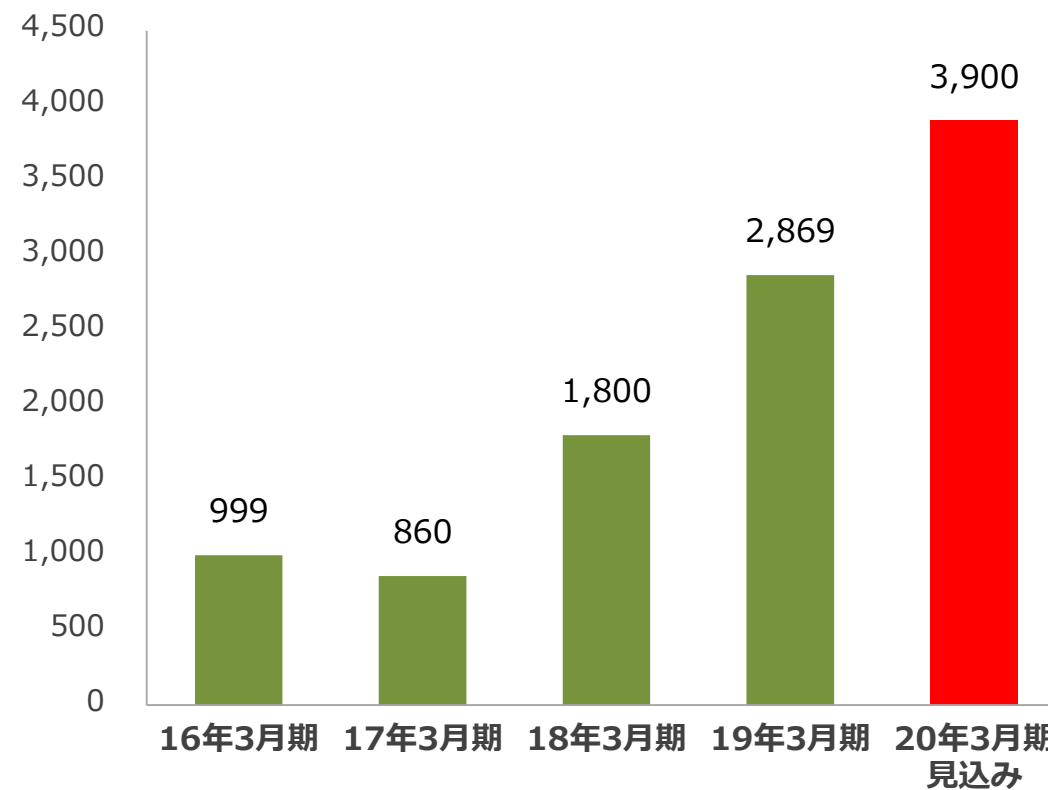
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



3. 株主還元方針

- 当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、成長投資のための資金の確保及び事業環境の変化に対応できる企業体質の強化とのバランスを考慮しつつ、株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

19年3月期配当実績
18.5円/株
(連結配当性向30.0%)

20年3月期配当
(見込み)
25.0円/株
(連結配当性向30.4%)

2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、
2019年3月期の配当実績は、2019年5月1日付分割後の配当金額を記載しております。

4. 補足資料

連結貸借対照表



(単位：百万円,%)

	2019年3月末		2019年9月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	14,174	67.4	13,262	66.3	▲911
現金及び預金	5,633	26.8	4,510	22.5	▲1,122
受取手形及び売掛金	7,757	36.9	7,962	39.8	205
固定資産	6,844	32.6	6,748	33.7	▲96
有形固定資産	4,942	23.5	4,903	24.5	▲39
無形固定資産	359	1.7	400	2.0	40
投資その他の資産	1,542	7.3	1,444	7.2	▲97
資産合計	21,019	100	20,011	100	▲1,008
流動負債	9,161	43.6	8,028	40.1	▲1,133
未払費用	4,751	22.6	4,592	23.0	▲158
未払法人税等	742	3.5	517	2.6	▲225
賞与引当金	738	3.5	808	4.0	69
固定負債	1,312	6.2	1,301	6.5	▲10
長期借入金	750	3.6	692	3.5	▲58
負債合計	10,474	49.8	9,329	46.6	▲1,144
株主資本	10,535	50.1	10,714	53.5	179
純資産合計	10,544	50.2	10,681	53.4	136
負債純資産合計	21,019	100	20,011	100	▲1,008

Point

①株式売却

政策保有株式の売却により、固定資産（投資その他の資産）が減少

②納税

社会保険・消費税・法人税等の納税により、流動負債が減少

③全体

上記により、現金及び預金が減少し、流動資産及び資産合計が減少

四半期連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	19年3月期 2Q累計	20年3月期 2Q累計	増減額
	金額	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	351	▲361	▲713
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲93	24	118
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲424	▲786	▲361
現金及び現金同等物の増減額	▲165	▲1,122	▲956
現金及び現金同等物の期首残高	5,283	5,633	349
現金及び現金同等物の期末残高	5,117	4,510	▲606

Point

- ① **営業活動によるキャッシュ・フロー**
税金等調整前当期純利益及び引当金等による収入が前年同期比で増加した一方、社会保険・消費税・法人税等の納税による支出が前年同期比で増加したことにより、361百万円の支出となった
- ② **投資活動によるキャッシュ・フロー**
基幹システム関係等の投資による支出額が前年同期比で増加した一方、政策保有株式の売却による収入が143百万円あり、24百万円の収入となった
- ③ **財務活動によるキャッシュ・フロー**
借入金による資金調達がなかったことに加えて、配当金の支払が前年同期比で増加したことにより、前年同期比で支出額が増加し、786百万円の支出となった

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

日総工産株式会社 広報・IR本部 IR部

電話 : 045-777-7630

E-mail : ir@nisso.co.jp

URL : <http://www.nisso.co.jp/>